

## [12/13 更新しました！]日本語パートナーズ@タイ・スリン(齋藤さんからの活動レポート)

府中国際交流サロンで「外国につながる子ども」学習支援の活動を2年間続けてきた齋藤彩さん(カンボジア専攻3年)が、5月から国際交流基金「日本語パートナーズ」として、タイに派遣されました。その活動レポートをご紹介します。「日本語パートナーズ」事業について詳しい問い合わせは、留学支援共同利用センターの職員までお願いします。

\*\*\*

(20161213 更新)

日本語コンテスト

もう一週間程前ですが、12月7日にラオス国境ノンカイで行われた日本語コンテストの東北地方大会に参加しました。60校以上の学校が参加した大きな大会で、日本語だけでなく色々な分野のコンテストが同時に行われます。7日・8日の2日間に渡って開催されました。

私達の学校は高校生・中学生のスピーチ部門、高校生・中学生のガイド部門(自分の街の紹介)、高校生の劇の、全部で5部門9人で参加しました。

大会の1ヶ月程前からパートナーの先生と空いてるコマや放

課後に練習時間を設けていたのに誰も来なかったり、来ても1人や2人だったり.....スピーチの2人以外はちゃんと練習したのが直前にあった三連休だけですごくヒヤヒヤ。

ですが、全国大会に進むことは出来ませんでした、みんないい結果を残せたので満足です。?

会場は私達の町プラサートからだいぶ遠いので、前日から隣の県ウドンのホテルに泊まりました。

ホテルについでるプールで高校生・中学生にまじってはしゃいだり、夜にベッドの上にお菓子を広げてワイワイしたり、修学旅行気分も味わえました。



(左「おつかれさま〜」、右 紙飛行機を作るコンテストもあります)

(20161013 更新)

Sports weeks, Sports day (9/18)



先週からの2週間はスポーツウィーク。いつもより授業が短縮されて、生まれた放課後の時間に生徒たちがバスケットボール、バレーボール、サッカーで競い合いました。

知っている生徒の試合があると聞きつけて、私も応援にふら?と会場まで行くと、気づいた生徒が何処からか椅子とかお水とか持って来てくれます。生徒たちは普段から先生の言うことならゴミ捨てだってお茶汲みだって何でもやります。年上の人のために、ましてや「先生」のために動くのは当たり前の文化だから。でも他の先生方と同じように生徒たちに何かしてもらうのに慣れてな

い私はすっごく申し訳なくなります。

2週目の木曜日・金曜日は運動会！応援団のお寺までのパレードから始まり、リレーやサッカーが行われました。日本みたいに紅白だけじゃなくて、チームは水色・紫・ピンク・黄色・緑・赤の六つです。私はパートナーの先生の担当クラスの色ピンクチームを応援しました。パレードや応援団がとってもかわいい。みんなメイクも衣装もバッチリで、前日は学校に泊まり込んで準備したと言っていました。このパレードと応援団の美しさもチームの点数に加算されます。



きっと生徒たち主体で準備したものなのに、衣装や応援団の音楽は伝統的な「タイっぽい」ものが多いです。(地域柄「カンボジアっぽい」もあります)でも所々現代っぽい、中高生っぽさもみられます。普段の生活でも生徒たちが伝統的な衣装や音楽・舞踊に親しんでいる様子は見えますが、ずっと伝わってきたものをこうやって新しいものと混ぜてうまく付き合っている姿はとっても素敵だなと思います。日本でも言葉や料理は昔から伝わるものと新しいものが共存してたくさん人の生活に生きているけど、お着物や音楽や日本舞踊は一部の人しか知らないんじゃないかなあ。

(20160809 更新)



タイでは毎年、「日本語能力コンテスト」が開催されます。タイ全土にある学校から、日本語を勉強している高校生たちが多く参加します。部門は「日本語スピーチ」、「朗読」、「ディクテーション」、「1枚の絵から話を作る」、「辞書引き」の五つで、参加する生徒たちは県大会、地域別大会を通過し、バンコクで行われる全国大会出場を目指します。日本語パートナーズの派遣先校でもこのコンテストに参加する学校は多く、パートナーであるタイ人の先生と協力しながら日本語ネイティブとして練習をサポートしています。

私の派遣先校であるプラサートウィッターヤカン学校も、8月6日に行われたスリン県

大会に「1枚の絵から話を作る」部門で参加しました。この部門は二人一組のペアで行われます。用意された写真を見ながら15分間でストーリーを考え、一人が約2分間の発表を行います。

コンテストの約一か月前から放課後練習が始まりました。参加する4人の高校3年の生徒たちは普段からとても上手な日本語を使いますし、昨年も同じ部門でコンテストに参加し、県大会での入賞経験があります。ですが練習開始当初は内容に一貫性が無かったり発表時間が短かったりなど改善すべき点がありました。

練習では本番と同じ時間配分で発表を行いました。その後タイ人の先生から内容と文法についての指導があります。先生の指摘は的確ですし、外国人として日本語を学んだからこそ出来るアドバイスが多くありました。私は次

回の練習までに録音した生徒たちの声を文字に起こして修正を加え、彼らに渡します。勉強熱心で日本語が好きだと言ってくれる4人は、私の修正した箇所がなぜ間違っているのかをよく質問してくれます。また彼らの発表をもとに作ったスピーチの代案を食い入るように見て、メモを取ったりしていました。

実は、私達の学校では他の学校と比べ練習時間をあまり多くとることが出来ませんでした。ですが県大会の結果は1位と3位をいただきました。1位のペアは8月末に行われる東北地方大会に出場します。生徒たちの努力と、先生の熱心な指導があってこそこの嬉しい結果です。次回の大会でも良い結果が残せるよう、引き続き練習をサポートしていきたいと思います。

(写真は表彰式の様子 上:1位、下:3位を取った生徒たち)



(20160708 更新)



今日は七月七日！たなばた！

今日の日本語クラブではみんなで願い事を書いて笹の葉に飾りました。

「好きな人と両想いになれるように。」とか、「お金持ちになれるように。」、「大学に合格しますように。」という日本の中学生・高校生と同じような願いをする子が多い中、「王様が健康でありますように。」と書いた子も。

王室を慕うタイっぴいなあと思いました。

(20160624 更新)

タイ・スリンに来て1か月が経ちました。情報発信も役割の1つなので...



#### 【キャンプ】

チェンライやシーサケットなど他県の学校から、Jaturamitr というイベントでたくさんの生徒達、先生方がいらっしゃっています。開催場所は毎年参加している学校が順番に選ばれるらしく、今年のスリンの私たちの学校で行われています。

Jaturamitr では、それぞれの外国語クラスごとに、ブースを出します。日本語ブースでは浴衣を紹介しました。実際に着て写真を撮ってもらった体験型のものでした。浴衣の着付けの出来る M6(高校3年生)のお姉さんお兄さん方が大活躍です。体験しに来てくれた生徒達も、とっても楽しそうに写真を撮っていました。

#### 【象の村】

スリンは象のまち！昔からスリンの方々は象と暮らしていたらしく、スリンの至るところに象の像や彫刻を見つけることができます。今日の午後は象の村に連れて行って頂きました^^ 大きな子から小さな子まで象さんだらけのショーを堪能しました。

明日もまた観光します！今週はまだ授業をひとつもしていませんが、イベントを通してたくさんの生徒達や先生方と出会えるこのイベントを満喫しています。

(カンボジア語専攻3年 齋藤彩)

日時: 2016年12月13日

